

ジュニア部門（中学生の部）

応募歌数 四、七一二首

最優秀賞

夏季休暇競書大会待ち遠し筆走らせてさあ「白雲万里」

渡邊優太（長岡市立西中学校）

選者賞（大下一真選）

ゴールしてしばらくたってアナウンス最初に呼ばれた自分の名前

鈴木太翔（岩沼市立岩沼中学校）

選者賞（水上比呂美選）

蟬の声近くに聞こえ振り返る僕の背中は樹木じゃないよ

川村奏太（中央大学附属横浜中学校）

魚沼市長賞

「久しぶり」自肅期間後クラブにて口見えないが目で笑い合う

猪貝祥太郎

（魚沼市立小出中学校）

新潟日報社賞

学校の帰りにのぞくポストから躍る筆跡友の字を待つ

大立日芽依

（長崎市立淵中学校）

宮校二記念館長賞・・・七首

ぬばたまの夜に絵を描く星座たち離れていても手と手つないで

吉見香音

(中央大学附属横浜中学校)

選挙カー聞こえる声を聞き流す3年後には聞き流せない

坂大 豪

(魚沼市立小出中学校)

寝室に響く大きな虫の声小さな羽をこする鈴虫

野水蒼生

(新潟県立燕中等教育学校)

せみの声にぎやかな日が誕生日14才の私の始まり

平松実華

(新潟市立亀田中学校)

爪切を作る工場見学する多くの人の手を得て輝く

山田桃歌

(新潟県立燕中等教育学校)

早起きで気分も運も良くなってあるものなんだ三文の得

長谷川 蓮

(長岡市立西中学校)

勉強中外を見ていて思うことなんて自由な大きな雲よ

長谷川 蓮

(長岡市立西中学校)

秀逸・・・二十九首

あかい痕からだにできたぶつくりと犯人追ってかしわ手打った

伊藤奈津子

(中央大学附属横浜中学校)

いつの間に押ししてと言わない三輪車離れてく君の小さな背中

竹内美結

(かほく市立宇ノ気中学校)

「神様は登れない壁作らない」諦めるなと先生の言葉

加藤睦也

(新潟市立亀田中学校)

黒い空暖かい風低い鳥きつともうすぐどしや降りの雨

佐藤綾菜

(中央大学附属横浜中学校)

夏休み小さないとこのおつきあいむしかごの中まんいんおんれい

古川泰成

(長岡市立東北中学校)

飼っているインコの小屋をのぞいたら昨日はなかった卵が一つ

野崎蓮人

(中央大学附属横浜中学校)

なぜだろうそんなのどうでもよかったのに電車の窓で直す前髪

福井直治

(慶應義塾普通部)

明くる日もまた明くる日も君というチョコフォンデュのイチゴでいたい

佐藤 煌

(魚沼市立魚沼北中学校)

せみの子がよろいをぬいで顔出せば息のむ美しさ白い羽

児玉佳太郎
(中央大学附属横浜中学校)

ベランダの洗濯物のすき間からきゅうくつそうなくもりの日の空

大河原桃花
(須賀川市立第三中学校)

真夏日の部活が終わり帰路につく強い日差しに足をつかまれ

若井 尊
(魚沼市立湯之谷中学校)

マジすげえ七回裏満塁ホームラン東北の軌跡甲子園の夢

平澤 隼
(魚沼市立堀之内中学校)

ありがとう今伝えたいこの気持ち夜おそい父待ってる私

鈴木結衣
(長岡市立刈谷田中学校)

リバウンド激しいぶつかり汗弾くとった瞬間私のボール

本田夕季
(新潟県立燕中等教育学校)

舞台袖本番前の緊張は引退したらむしろ恋しい

佐藤菜里
(魚沼市立小出中学校)

別れ告げ関わらないと決めたのについて、ながめちゃう 君とのLINE

安井里紅来
(長岡市立東北中学校)

君のクセだねグーチョキパーでチョキを出す私はあえてパーを出す

松本琉花
(新潟市立亀田中学校)

「あんたはね素直だからね」なにげなくこもんにいわれ実はうれしい

小田島朱里
(新潟市立亀田中学校)

この本はあと何ページ寂しいねまだまだ読んでいたかったのに

佐藤重子

(中央大学附属横浜中学校)

美術室作品と向き合い時過ぎるマスクに絵の具付くこと気づかず

西本早藍

(中央大学附属横浜中学校)

新品の皮ぐつぬらす日照り雨上を向いてる街のひまわり

南田莉穂

(中央大学附属横浜中学校)

永遠に続く緑の葉の上でさまよっている我かたつむり

生頼春香

(中央大学附属横浜中学校)

試合したコートを離れ礼をする床に転がるボールを見つめ

加藤理緒奈

(新潟市立内野中学校)

エジプトにメキシコ行^いった夏休^{なつやす}みわりと楽^{たの}しいオンラインツアー

橋本悠司

(慶應義塾普通部)

青空を一直線に怖がらずのびゆく雲に私はなりたい

エビイリイ英那

(魚沼市立魚沼北中学校)

いとこの子三年ぶりに顔を見た話上手で成長してた

羽鳥楓花

(長岡市立岡南中学校)

はくしゅする得点したらはくしゅする真つ赤になるまでおうえんせきで

内山陽登

(長岡市立三島中学校)

雪の降る朝に歩くと後ろから「おはよう」という声のやさしさ

早川篤哉

(長岡市立西中学校)

ひとつずつ恋のかけらをはめてみてようやくできた自分の気持ち

佐々木優綺

(岩沼市立岩沼中学校)

佳作・・・三十五首

春雨が一つの石に打ちつける僕の石もうじき割れる

須藤拓己

(茨城県立下館第二高附属中学校)

生きたいと願う人々に向けられる錆びた刃と香る花束

橋本 響

(関西大学第一中学校)

いちよう散る空の下をかけて行くうり坊うずら赤とんぼたち

吉内歩海

(府中市立府中第四中学校)

私は今日叩いてしまった小さな蚊小さな罪になるのでしょうか

中林七恵

(魚沼市立堀之内中学校)

空見ればこの世の広さ思い知り地面を見れば弱さに気付く

井上星奈

(魚沼市立堀之内中学校)

夏祭り触れそうな手かもどかしい君は気にせずただ歩くだけ

内田莉々香

(魚沼市立堀之内中学校)

友達と一緒ともだち いっしょに帰かえる夕方ゆうがたは周まわりの雑音ざつおん聞こえなくなる

八木ありさ

(魚沼市立堀之内中学校)

課題の量こんなに多いとおどろいた中学生になったということ

三浦真珠子

(新潟県立燕中等教育学校)

いつだってあなたが必要私には苦くて甘いチョコは正義だ

澤口 晴

(新潟県立燕中等教育学校)

炎天下土用干しする梅干しの塩の結晶白くうき出る

遠藤将也

(新潟県立燕中等教育学校)

陰口を言った瞬間バレている自分の弱さ自分の醜さ

佐藤陽月

(魚沼市立小出中学校)

バスケットでのDFの壁こえてたな受験の壁ははるか上だな

櫻井ふれあ

(魚沼市立小出中学校)

応援の声も聞こえぬ最終打者流れる汗もぬぐわずに立つ

三輪優成

(長岡市立東北中学校)

鳴り響く演奏開始のアナウンス手に人書いて飲み込む舞台袖

木村幸花

(長岡市立東北中学校)

見上げればいつもきれいな空の色暑い昼でも涼しい青で

小嶋 遥

(新潟市立亀田中学校)

はよ起きて怪獣の声鳴り響く起こさないでって言ったはずだよ。

松田歩実

(新潟市立亀田中学校)

メンバーのラスト一枠逃した日強くなるぞと決意した夏

本間彩南

(新潟市立亀田中学校)

入道雲夏の間は人間をじっと見つめて観察している

橋詰咲穂

(中央大学附属横浜中学校)

階段を遅刻だ遅刻と駆け上がり過ぎ去っていく電車の鳴き声

渡邊 悟

(中央大学附属横浜中学校)

上野の大地にそびえる碓氷峠切り立つ岩肌陽に照らされて

吉田琥珀

(中央大学附属横浜中学校)

ほんのりと香る梔子うす暗き燕鳴き出す朝ぼらけかな

藤崎詩史

(中央大学附属横浜中学校)

四年ぶり祖母に手を振るも気づかないマスク外すと笑顔浮かべる

仲林瑠菜

(中央大学附属横浜中学校)

影遊び追いかけるほど逃げてゆくあつという間に影長くなり

仲林瑠菜

(中央大学附属横浜中学校)

バーミヤンびつくりぎょうてんロボットが品物運ぶワクワクするね

奥野聡太

(新潟市立内野中学校)

夏の空ファールボールを取りこぼすまぶしい陽射しと目に染みる汗

大矢亮太郎

(慶應義塾普通部)

友の顔マスク顔しか知らぬまま卒業式まであと七ヶ月

本間丈太郎

(慶應義塾普通部)

大玉の甘いスイカがまな板の上で行き場を待っているんだ

坂牧陽斗

(魚沼市立魚沼北中学校)

最終回ランナー満塁このチャンス打席に向うとまさかの代打

細貝陸斗

(長岡市立岡南中学校)

山の日には家族みんなで旅行いく青く澄み渡る群馬の四万湖へ

館山橙椰

(長岡市立岡南中学校)

うすあおの傘を閉じれば五月晴れ雨の滴るハイドレンジア

番場みのり

(長岡市立西中学校)

くやくして地面けとばす雨の中いつも見ていたあいつの背中

平瀬竜大

(長岡市立西中学校)

はみがき中自分のほおを見てみるとくつきりついたマスクの日焼け

松尾 和

(長崎市立淵中学校)

夕焼けに街全体が飲み込まれる黒から逃げるオレンジ色が

新田七愛

(岩沼市立岩沼中学校)

授業中笑顔のあなたと目が合った時間なんて止まればいいのに

青山陽咲

(岩沼市立岩沼中学校)

何気ない普段の会話の合間から掘り出している恋のかけらを

山本咲来

(岩沼市立岩沼中学校)